

HONGO
100 YEARS
since 1922
and THE FUTURE

銀友



©2022 Takashi Murakami/Colorful Kiki Co., Ltd.
All Rights Reserved.

総会のお知らせ

日時 2023年6月17日(土) 15:00より
場所 本郷学園1号館2階会議室

<http://本郷学園同窓会.jp> & <http://www.hongo-gd.net>

Ginyu vol.

52

June 2023

本郷学園同窓会

Index

p2
いあごあつ

- 本郷学園同窓会 会長
1956年≡昭和31年卒業(高校8回生)
南谷 修

- 学校法人本郷学園 理事長
松平 頼昌

p4
百周年記念事業に込められた思い

- 本郷中学校・高等学校 校長
佐久間 昭浩

p5
創立100周年記念座談会

- 卒業生座談会
百年の時を経て卒業生と語り合う
本郷の今と昔
- 松平頼壽と坪内逍遙
校歌誕生の経緯

p17
創立100周年記念事業

- 学校法人本郷学園 創立百周年記念
生徒舞台発表会(生徒主体)の開催
- 学校法人本郷学園 創立百周年記念式典
の開催
- 創立百周年本郷祭(学園文化祭)の開催
本郷学園百周年の集い(ホームカミング
デー)の実施
- 特別編集「本郷学園創立100周年記念
座談会」冊子の発行・記念誌の発行

- 創立百周年記念ファンファーレ作曲
コンペティションの開催
- 記念グッズの作成

p23
本郷中学校・高等学校100年(2022年)の今

- 3つの教育方針・建学の精神・教育目標
- 施設
- 6年間一貫教育体制・年間行事
- クラブ活動
- 教員紹介

p35
2023年度事業計画

p36
2023年度予算案

p37
2022年度事業・決算報告

p38
2022年度表彰報告

p40
本郷学園同窓会役員(案)

p41
本郷学園同窓会会則

p43
学園だより

- 2023年度大学入学試験合格結果

p44
本郷学園同窓会会費納入者一覧

p47
計報・OB会使用り

ごあいさつ



本郷学園同窓会
会長

南谷 修

1956年=昭和31年卒業
高校8回生

同窓会の皆様、日頃より会の運営、母校の支援にご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。お陰様で本郷学園創立100周年の記念行事は、学校側主催と生徒達主催を含めて、多くの人達が集まり盛大に開催されました。

同窓会としては、「本郷の今と昔」と題して、旧制中学の大先輩と学園の名誉理事長、理事長、校長との座談会を開催いたしました。

旧制中学の卒業生は、99歳をはじめ皆さん90歳代の方々ですが、元気に集まり、本郷生時代の写真などを持ってきてられ、先生達や校舎、園芸場、永井体育館が話題になりました。また、松平頼壽先生のお姿を見かけるだけでホッとしたりとか、本郷の生徒はジェ

ントルマンシップにあふれた生活をしてきた、などの外、学徒動員で制服が着られず残念であった、といった発言もありました。さらには、今日、来て、銀杏並木が半分になったように感じましたし、永井体育館が見られなくて残念、園芸場も無くなってしまう、など「本郷の今と昔」をくらべて、懐かしい思いに駆られておられました。

創立100周年記念本郷祭では、「本郷の先輩たち」をパネルで紹介いたしました。社会に出てご活躍なさっている多くの人達、人間国宝の能楽師、コレクター、漫画家、アーティスト、棋士、オリンピック選手やサポーター、文学士、デザイナー、音楽家、アナウンサーなどあらゆる分野でご活躍なされておられる人達を紹介いたしました。今までにない多くの人々が展示会場に来られ、その印象をそれぞれのおいで話されており、今更ながらに、大活躍しておられる方々の多いことに驚き喜んでおられました。

皆さんのご協力により、学園側の100周年記念で短期留學生徒7名を送り出すことが出来ました。語学力の向上も、そうでありませ

が、文化、思想、習慣などの違いを肌で感じ、日本を出なければ経験できないことを学んできて欲しい、と願うとともに、多くの友達を作ることで、将来の友人という宝を作って欲しいと願います。アメリカ1人、英国2人、ニュージーランド4人が行かれて戻ってこれております。

この3年間、コロナ禍で入学式も卒業式も保護者が参加されず、生徒が一堂に集まつての式典が出来ませんでした。授業も通常のものが出来ませんでした。授業も通常のものが入り通常通り行うことになりました。が、通常通りがこんなに大変なものかと驚くとともに、コロナ禍での授業が通常なのだと思われている生徒も多くおられました。また、卒業式も入学式も多くの保護者で満席となり別室でテレビ参加するようになりました。

同窓会も集まる事が出来ませんでした。母校への支援は全て行っておりでしたが、今後、同窓会の活動にご協力、参加いただきたいとお願い申し上げます。皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

ごあいさつ



学校法人 本郷学園
理事長

松平 頼昌

同窓会への御礼

同窓会の皆様におかれましては、本郷学園の為にいつも暖かく見守って下さり、ありがとうございます。昨年度は、本郷学園が100周年を迎える大切な年であり、多くの卒業生のご活躍の蓄積の結果、式典等も無事に終えることができました。また、100周年記念事業として、今年7名の生徒を海外へ短期留学に送り出すことも出来ました。多くのご寄附によるものでしたが、今後も出来るだけ多くの生徒が海外へ行くことが出来る様に企画して参りたいと思います。この場を借りて、改めて同窓会の皆様に感謝申し上げます。

10月30日の式典では、多くの卒業生が来校して下さい、現在の本郷生との交流をして頂ける良い機会をご提供

することができました。本当に嬉しい限りです。また、3月には、100周年の卒業生を送り出し、そして令和5年度を迎え、101年目に新たに中学294名の新入生を迎えることが出来ました。次の100年へのスタートを切ることが出来ましたことを、教職員共々嬉しく感じております。

人類は3年間のコロナ禍という試練を乗り越え、多くの経験を積み重ねてきました。同窓会の皆様も多くの不都合を経験されたことと思いますが、今後とも健康にはご留意されるようお願い申し上げます。学校では、校長をはじめとする教職員が、対応に追われましたが、ついにこの4月からは通常の運営に戻ることができました。皆様には是非、学校にも足を運んで頂ければと思います。

コロナ禍により出来なかつた事もありませんでしたが、社会のあらゆる場面でその対応によって前進した部分もあつたかと思えます。教育現場では、一気に生徒へのアプローチ方法が変化して、一時期オンライン授業が行われましたが、やはり全日制として生徒が日々出会うことの大切さを再度認識するとともに、如何に集団での生活が生徒のみならず

人々の成長へ欠かせないものかと痛感した次第です。しかしながら、十分な体験をする機会を欠いてしまった事は、生徒、保護者に対しては大変心苦しく思っております。生徒たちは限られた中ではあるものの、最大限に力を発揮してくれてきた事は、教職員の指導の賜物であると言えます。

昨年のロシアによるウクライナへの侵攻、今年の2月には、トルコ、シリアの大地震と心痛める出来事ばかりで、今後の世界の見通しも難しくなっております。更に国内へ目を移せば、少子化が一段と加速し、正に将来の生徒数が減っていくことを考えますと、決して安泰ではないことは明らかであります。これからの100年を目指す上での目標を意識しましたが、幾度となく考えてたどり着く事は、やはり「強健・厳正・勤勉」を拠所にする以外ないと考えており、これの事を引き続き伝えて参りたい所存です。

改めまして、令和5年度は、本郷学園が次の100年へのスタートを切つた年となりますが、卒業生という本郷学園の財産を大切に守って行くことを誓いますとともに、今後ともご支援の程賜りますようお願い申し上げます。

百周年記念事業に込めた思い



本郷中学校・高等学校
校長

佐久間 昭浩

いう状況でした。時間だけがいたずらに過ぎてしまっていたように感じておりましたが、そんな中で名誉理事長より次の一言をいただきました。

『記念事業はとにかくこれまで本郷に関わっていた方々に対する「感謝」を表すものに行きましょう。』
これ以降、具体的な行事の検討が一気に進んだと私は感じています。記念事業の方向性がより明確になった瞬間でした。

昨年度は本郷学園創立百周年という記念の一年として、様々な行事を実施いたしました。そして多くの行事で同窓会より多大なるご支援、ご協力をいただきました。機を逸した感もございませんが、この場をお借りして改めて同窓会の皆様に御礼を申し上げます。本郷にありがとうございました。行事の内容に関しましては本冊子「銀友52号」に詳細が記載されており、ぜひご覧いただければと思います。

さて、百周年を迎えるにあたり、どのような記念事業を実施するのかということについては、2019年2月の「百周年記念事業検討委員会」の発足が検討のスタートとなりました。しかしながら、外部の方を招いての周年記念式典の実施が「創立七十周年」以来ということ、記念式典等を実際に経験している教職員が少なく、検討当初はなかなか具体案が出てこない

百周年記念事業の二つに「本郷学園100年史」の作成がありました。先人たちの存在の大きさというものに改めて気づかれます。創立当初の関東大震災や後の東京大空襲など、学校の存続にかかわる大きな困難をはじめとして、昨今の新型コロナウイルス感染症など、この百年の間にはそれまでの経験が全く通用しない出来事が多くあり、歩んできたその道のりはとても険しいものだったと思います。そんな状況の中で本郷の歴史を作るために尽力してくださった方々のお名前がこの記念誌には掲載されており、もちろんその方たちだけで本郷の歴史が作られたわけではなく、その陰には、

紙面上に名前が出てこない数多くの先人たちの存在があるのです。今回上梓された100年史は非常に立派な装丁で、実物を手にするだけで100年という歴史の重みを感じさせてくれますが、それと同時に紙面には出てこないけれども本校の発展に寄与していただいた多くの方々の思いというものも感じることが出来ます。この記念誌の作成により、これまで本郷に関わっていただいた方々に対する「感謝」を多少なりとも表すことができたのではないかと思います。この記念誌を卒業生の皆様にお渡しすることができないのは非常に残念ですが、学校にお立ち寄りの際にはぜひとも手に取っていただき、学園に関わっていた方々に対する「感謝」の気持ち、すなわち百周年記念事業に込められた我々の思いというものを感じていただけたら幸いです。

本郷の歴史はこれからも永遠に続いていきます。記念事業は昨年度二区切りつきましたが、現役の生徒諸君には今後の本郷の歴史を創る当事者として、先人たちに對する感謝の気持ちと学校文化をさらに発展させた形で後世に引き継いでもらいたいと思います。同窓会の皆様方におかれましては、今後本学園に對し、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

卒業生座談会

百年の時を経て卒業生と語り合う
本郷の今と昔

景山 正隆 さん…今里隆 さん…宮本良一 さん…南谷修 さん…松平頼武 さん…松平頼昌 さん…佐久間 昭浩 さん

司会進行 名管理理事長 第四代理事長 第九代校長



景山 正隆 さん
昭和14(1939)年度卒業／中学13回生

プロフィール
元東洋大学教授、義太夫協会名誉会長／大正11(1922)年生まれ。本郷中学校卒業後、府立高等学校文科乙類を経て東京帝國大学文学部国文科入学。海軍入団のため休学後、同学(東京大学と改称)卒業。公立高等学校教諭、戸板女子短期大学、清泉女子大学教授を経て、東洋大学文学部国文学科教授。公職として文化財保護審議会専門委員、文化庁芸術審査委員、文部省芸術選奨選考審査委員、日本芸術文化振興基金専門委員、文化庁インターンシップ研修員選考委員、新内協会顧問、義太夫協会会長、国立劇場文楽評定委員を歴任。歌舞伎・人形浄瑠璃・邦楽の研究に従事し、著書多数。平成5(1993)年、勲四等旭日小綬章を受章。
2022年8月に急逝されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



今里隆 さん
昭和19(1944)年度卒業／中学18回生

プロフィール
建築家。元東京藝術大学客員教授／昭和3(1928)年生まれ。本郷中学校卒業後、東京美術学校(現東京藝術大学)建築科在学中から吉田五十八に師事し、卒業後は吉田五十八研究室に勤務。昭和39(1964)年杉山隆建築設計事務所創設。代表作に、国技館、歌舞伎座、総本山醍醐寺霊宝館、池上本願寺後廟所、南座、平山郁夫美術館、池坊本部ビル、大平正芳邸など。主な受賞に、東京建築賞特別賞、東京建築賞優秀賞、東京建築賞奨励賞、日本経済新聞新製品質賞、建築業協会特別賞、きょうと景観賞、BELCA賞など。著書に『屋根の日本建築』(NHK出版)、『次世代に活きる日本建築』(市ヶ谷出版社)など。



宮本良一 さん
昭和17(1942)年度入学／中学20回生

プロフィール
元千葉県立佐倉高等学校校長／昭和4(1929)年生まれ。本郷中学校、海軍甲種飛行予科練習生(予科練)を経て、東京教育大学(現筑波大学)農学部で植物育種学を専攻。卒業後は千葉県に奉職し、県立高等学校、県教育機関に勤務。県立佐倉高等学校校長をもって定年退職し、以降は国際ロータリークラブの会長や地区委員長を務め、タイ、フィリピンでの国際奉仕活動(井戸設置や Deng 熱撲滅)に携わる。平成29年6月1日、瑞宝小綬章を受章。



南谷修さん〈司会進行〉
昭和30(1955)年度卒業
高校8回生

プロフィール

学校法人本郷学園同窓会会長、元鹿島建設代表取締役副社長／昭和13(1938)年生まれ。本郷中学校、高等学校を経て、日本大学工学部建築学科卒業。鹿島建設入社後、神奈川県農協平塚農協ビル所長、静岡市新庁舎新築所長、横浜支店取締役支店長、建築技術本部副社長兼本部長、代表取締役副社長などを歴任。



松平頼武
〈名誉理事長〉

プロフィール

高松松平家第14代当主。早稲田大学第一理工学部卒業後、東京芝浦電気株式会社入社後、本郷学園理事、本郷学園理事長、本郷中学校・高等学校校長を歴任。令和元(2019)年より本郷学園名誉理事長に就任。／昭和13(1938)年生まれ。他要職は公益財団法人松平公益会会長、公益社団法人香川県教育会会長、高松市文化芸術財団会長、ポークアウト日本連盟顧問。ポークアウト日本連盟国際コミッション、ポークアウト日本連盟副理事長、少林寺拳法全日本学生会長など要職を歴任。平成22(2010)年旭日小綬章受章、平成24(2012)年ポークアウト世界連盟ブロンズ・ウルフ章、平成25(2013)年香川県文化功労章を受章。



松平頼昌
〈第四代理事長〉

プロフィール

学校法人本郷学園理事長、もみじ幼稚園副園長、ポークアウト日本連盟理事並びに国際コミッション、香川県教育会会長／昭和41(1966)年生まれ。上智大学大学院理工学化学専攻修了後、昭和シェル石油株式会社入社。本郷学園理事、常務理事を経て、令和元(2019)年理事長に就任。



佐久間昭浩
〈第九代校長〉

プロフィール

本郷中学校・高等学校校長／昭和40(1965)年生まれ。上智大学文学部卒業後、本郷中学校・高等学校英語科教諭として着任。教科主任、学年主任、入試広報部長、中学校教頭を歴任。平成28(2016)年本郷中学校・高等学校校長に就任。



2号館図書館にて

本郷の生徒は昔から 非常にリベラルだった

南谷 司会を務めさせていただき
ます南谷です。本日は本郷学園創
立100周年を記念いたしました。こ
創立当初、戦前戦中戦後を知って
おられる卒業生の皆さんにお集ま
りいただきました。開校早々の関
東大震災、昭和初期の経済危機、
戦前戦中戦後の混乱と、創立時か
ら本郷には幾多の困難の時期があ
りましたが、その時々の方々の気
概と協力、そして松平家四代にわ
たる決断によって今日があるのだ
と存じております。本日は大先輩
の皆さんの思い出をお聞かせいた
だき、本郷の絆を探り、次の100
年に引き継いで参りたいと考えて
おります。では、初めに松平頼武
名誉理事長からひと言伺いました
いと存じます。

**松平頼武名誉理事長（以下、名誉
理事長）** 今年、本郷学園は創立
100周年の記念すべき年を迎え

ました。大正11（1922）年10
月27日、中学校設立の申請を文部
大臣に提出しまして、第一期生を
迎えた入学式を翌年4月に挙行し
ました。それぞれの時代を支えて
くださった教職員、先輩諸兄、在
校生とご家族、そして地域や他校、
さまざまな企業の皆さまに感謝と
お礼を申し上げるための節目であ
ると捉えて、この100周年を迎
えたいと思っております。大震災
や戦争があり、戦後の教育改革、
最近ではコロナ禍によってオンライ
ン授業への移行など、大変目まぐる
しい変遷があったと考えておりま
すが、南谷さんのお話の通り、皆
さまのご協力によって乗り越えら
れたと感謝しているところでござい
ます。本日は大先輩方から当時の
話をたくさん伺いたいと思ってお
りますので、ぜひよろしくお願
いいたします。

南谷 では、今日本郷に來られ
て、校舎も生徒も随分変わったと
思いますが、その印象からお話し
いただけますか。景山さんは数年

前まで、夏休みに本郷の生徒に戦争の話をしていただいていましたから、卒業後も度々来られていたと思いますが、学校の印象はいかがでしょうか。

景山 私は戦災で焼ける前の校舎で学びましたが、今とはだいぶ違いますね。正面にコンクリートの校舎があつて、2階建ての木造校舎、剣道場と柔道場、園芸場、グラウンドと並行してかなり広い畑もありました。グラウンドは100メートルの直進コースをとつても余裕があるくらい大きくて、奥に鉄棒がありましたね、私は背が低いものですから飛び付けなくて随分困った思い出があります(笑)。

今里 今日久しぶりに来たら、染井通りから入るところの銀杏並木が半分になってしまった気がして。建物もたくさんできましたし、すっかり変わってしまいましたね。

名誉理事長 新しい建物を建てる時、正門から入って両側にある銀杏の木を残しながら多少切らざるを得ませんでした。銀杏の木の下

にあった卒業年を記した石は運動場へ移動しました。

南谷 私たちの時は落ち葉を清掃するのが大変でした(笑)。

宮本 私が1年生の時の写真を持ってきました。昔、園芸場の外に原っぱがあつて、そこで撮つたものです。僕の1学年上の先輩からカーキ色、軍隊色の制服で戦闘帽になつてしまったのが嫌ですね。上級生は黒の詰襟だったのに(苦笑)。それと、玉藻寮が校舎の隣にありましたね。高松の玉藻城から名前を取つた。

名誉理事長 香川県出身の大学生生寮ですね。戦争で焼けてしまいました。今はもみじ幼稚園(昭和29(1954)年開園)になつています。

宮本 案外、そういうことは忘れないものなんです。木造校舎も贅沢でしたよ。建物の横から入つて、階段を回るようにして2階に上がる。ヨーロッパの建築みたいで。
景山 2階に手すりがあつて階段が見えるんですよ。お昼にお湯

を取りに行くんですが、上からやかんでお湯をかけたり、イタズラしたことがあります(笑)。

宮本 生徒の印象で言えば、私の娘の知り合いが、本郷の生徒について「非常にスマートですね」と言っていたんです。山手線の駅で見かけたのだと思いますが、それを聞いて「やった」と思いましたね。

佐久間校長 とても奇遇と言いますか、名誉理事長が校訓に準ずる新たな目標を作られまして、それが「本郷生はスマートであれ!紳士であれ!」というものなんです。

宮本 そうですか。生徒が実践してくれているんでしょうね。本郷は昔から非常にリベラルだったと思います。本郷は上級生が下級生を絶対いじめなかった。それこそスマートで、僕らも黙って見習っていましたよ。

景山 いじめはなかったですね。ただ、上級生に校外で会つた時は、敬礼だけはしなければならなかったから、駒込駅を降りて学校に来るまでのあいだは敬礼しっぱなしでね(笑)。

松平頼壽先生の姿を見かけると何かホッとしたり

佐久間校長 私は本郷に来て33年経ちましたが、初めて本郷でお世話になった時、なんて自由で、生徒も教員も生き生きとした学校

なんだろうと思ひ、働けることが非常にうれしかったんです。皆さんが通われていた時の本郷は、どんな学校でしたか？

景山 私は府立の中学校の受験で失敗して本郷に入学したので、1年生で5クラス250人いた生徒が2年生になると4クラス200人に減ってしまうんです。成績の悪い50人が退学しちゃうんですね。それで「随分厳しいな……」と痛感しまして、しつかり勉強しなきゃいけないと思った記憶があります。

今里 私は自宅がすぐそばで、大和郷幼稚園、昭和小学校に通学する毎日、染井通りを通っていますから、白いカバンを斜めにかけて

いる生徒の姿がカッコよくて入学したんですが、ビックリしたのは運動場が東京一広かったこと。永井体育館、武道場が完備され、他校にはない園芸科があり、収穫期は楽しかったですね。

宮本 私は叔父が本郷の3回生というご縁がありました。小学校の友人のお兄さんも本郷に通っていたので、私が入学した時に金ボタンをくれたんです。また、自宅のそばに住んでいた軍事教練の教官が「本中に入ったら？」と薦めてくれたりして。僕らの頃の中学受験は二期制度で、一期は公立と名門校の私立で、本郷も二期でした。当時の東京にはナンバースクールが25中ほどありましたが、あの頃の府立の中学校には体育館もない。本郷はすべてを完備していた。子どもの頃はわからなかったけど、大人になって教育現場に立つてみると、初代の松平頼壽先生が私財を抛ってつくられた立派な学校だったのだと思いました。

南谷 創設者の松平頼壽先生や

第二代校長の徳川宗敬先生、初代教頭の永井道明先生のエピソードもお聞かせいただけますか。

景山 松平頼壽先生は、普段はお目にかかることはありませんでしたが、式典の時にはそのお姿を拝見していました。永井先生の思ひ出は、私が喘息の発作で学校を休んでいた2年生の頃、久しぶりに学校に来てグラウンドを歩いていましたら、「おい、景山！」と声が聞こえて。振り返ったら永井先生でビックリしました。「喘息はもういいのか？」と。教頭先生ですから個人的に話した記憶はない。思い当たるのは、修学旅行で箱根に行った際、同級生と二人で喘息の発作を起こして医者注射を打ってもらった時に永井先生がいらして、それを憶えてくださっていたんでしようね。

南谷 今里さんはいかがですか。校長が徳川宗敬先生に代わる時に在学していたと伺っています。

今里 それが大変残念ですが、混乱期だったせいかよく覚えてな

いんです。ただ、三木末武先生は憶えていますね。当時はまだお若くて、女性にモテてね(笑)。大きな声で話していると、自分で感激してしまう。そういう授業が面白かったですよ。

南谷 美術の先生は？

今里 服部季彦先生ですね。

宮本 服部先生は確か、理事として学校運営にも関わられていて、パリに留学していた話をよく聞きました。三木先生も素晴らしい先生でした。英語の授業でルーサー・バーバンクというアメリカの園芸家の話をしてくれて。僕は花や水生植物を見たり、園芸が好きでしたから、本郷の園芸の授業で他の学校では経験できないような感性を育めたと思っています。ほとんどの生徒は嫌がっていましたけどね(笑)。徳川先生については、私は昭和19(1944)年に海軍に行っただけで、縁が切れてしまった。

南谷 私たちの時代は「徳川先生は大殿と呼べ、松平先生は殿と呼べ」と、用務員の方から教わりま

した(笑)。「今日は大殿がいらっしやっているから走ってはならん！」なんてね。

宮本 そういえば、僕の頃は松平邸に能楽堂があって、その隣に玉砂利を敷いたお屋敷に続くスペースがありまして。松平頼壽先生がクライスラーか何かで帰って来られるところを見かけると、何だかホッとしましたね。

名誉理事長 染井能舞台ですね。もともとは明治8(1875)年に旧加賀藩主の前田斉泰公のお屋敷に建てられた根岸能舞台で、大正8(1919)年に頼壽公が譲り受けて染井の地に移築したものです。戦争でも焼け残ったのですが老朽化が激しくなり、解体した部材を横浜市に寄贈して、横浜能楽堂としてオープンしたのが平成8(1996)年です。そういう由来のある能楽堂で、現在働いておられる能楽師には本郷出身の方が随分いらっしやいます。学校の帰りにそこで練習していたと。私がよくお目にかかるのは亀井忠雄先生で

す。人間国宝の方ですが、それこそ今里先生が手掛けられた国技館で大相撲があると、毎日のように見にいらしています。

学徒動員で

授業が一つもなかったことが今でも残念に思う

南谷 今の生徒たちは、学校で授業を受けて、放課後になるとクラブ活動をしたり塾に行ったりという日常ですが、皆さんはどんな学校生活を送っておられましたか？

景山 部活動は主に運動部でしたね。文化部は書道部があって、私も所属していましたが、集まって何かをするってことはなかった。家で書いて、修身の指導もしていた木村宣雄先生が書道部の部長で見てくださいました。私が5年生の時、藤田東湖の「天地正大気」を真似て書いたものが展示されたのを見ています。それから、休み時間はテニスボールでサッカーをやった

り、木造校舎の板壁にボールをぶつ
けたりして遊んでいましたね。

宮本 僕の頃は部活動はほとん
どなくて、ラッパ部のみ活動して
いました。

松平頼昌理事長（以下、理事長）
学校が終わった後、放課後はどん
なことをしていたのですか？

景山 家がバラバラでしたからね。
私の場合は、放課後に友達同士で
付き合ったという記憶があまりな
いですね。

宮本 あの頃は「補導連盟」があつ
て、中学生や高等女学校の生徒
も、学校以外でチャラチャラしてい
ると脅されたんです（笑）。だから
学校と家の往復でしたね。ただ、
市電で神保町に出て、本は漁ってい
ました。新しい本が入ってこないか
ら、神田の古本屋で探すんです。

当時、英語の教科書は『Kanda's
The King's Crown Readers』
という王冠の絵が表紙に描かれた
オンドツクスなテキストで、年度
始めに購入するんですが、もっと古
い本が欲しくなる。それで古本を

神田に探しに行っていた。

景山 先生用の教科書もありま
したね。神田へ行くと古本で売って
いるから、授業の時に教科書と一緒
に開いたりして。

宮本 虎の巻だ（笑）。

南谷 戦前戦中を学校で過ごした
今里さんはどうですか。

今里 私の場合は4年生の終わり
から5年生の最後まで学徒動員
で、ことに5年生は板橋の陸軍造
兵廠で夜勤ばかりでしたから、授
業がつもなかったことが今でも非
常に残念に思います。土掘に囲ま
れた中で高射砲の信管に火薬を
詰める危険な作業を朝夜交代で
やっていました、昭和20（1945）

年3月の朝、夜勤から帰宅すると
自分の家がない。爆弾にやられて
すり鉢状の大穴が空いているのみ
で、母は防空壕の中の木材が支え
となって助かりましたが、弟が一
人、その奥で土に埋まって死亡し
ました。父は崩れた材木の中から
助け出されました。隣近所は全
滅した家がいくつかあり、悲愴な

体験でしたね。

景山 その当時、私は海軍にいま
したから、空襲の怖さを知らない
んです。

宮本 私もそう。3年生で中途退
学して海軍甲種飛行予科練習生
として海軍に行きましたから、戦
後帰ってきて、昭和20年の9月頃
ですか、体育館で授業をやっていま
したね。本館はすべて焼けてしまっ
たけれど、その中で事務仕事をやっ
ていたと思います。

南谷 今里さんは昭和20年の卒業
ですが、式典はあったのですか？

今里 なかったので、だいぶ後にな
つてからお願ひしましてね。一番
新しい2号館で紅白の幕を張ってい
ただいて、もう一人の同級生と一緒に、
卒業証書を何十年振りにもら
いました。名簿もアルバムもあり
ませんでしたから。

景山 終戦直後のことと言えば、
昭和22（1947）年、私が大学在
籍中に旧校舎が復活して、職員室
でいろんな先生にお会いたした記憶
があります。服部先生や野瀬田佳

生先生もいらつしゃって。特に野瀬田先生は後に、沼津精華女子高等学校（現沼津中央高等学校）に移られるのですが、私が戸板女子短期大学で働いている時にその沼津精華女子高等学校を卒業した学生が来ましてね。私は野瀬田先生がその学校におられたのを知っていたから聞いてみると「担任だった」と。それでお手紙を差し上げて、沼津まで会いに行ったことがあります。

今里 歴史の先生ですね。鼻が高くて。

景山 私の担任だったんです。3年の時は上野直由先生、4・5年は数学の安藤忠吉先生で「アナグマ」なんて呼んでいた（笑）。

本郷だからこそ ジェントルマンシップに あふれた生活をしている

南谷 まだまだいろんなことを伺いたいのですが、そろそろ時間が来

てしまいました。最後に将来に向けて、後輩へひと言ずつお言葉をいただけますか。

景山 進学状況などを見ても、今の生徒の皆さんは意気盛んな印象を受けます。ですから安心して将来に向かって前進する学校だと期待しています。

今里 後輩の皆さんにお伝えしたいことは、将来進学する大学では、先生方は何も教えてくれないということですよ。しかし、積極的に教えるを請うと丁寧な導いてもらえます。これが大学でしょう。私が在籍していた美術学校は特に極端で、先生の仕事を盗み取ることが学びでした。人間がどこまで育つかは、良い先生につくかどうかが一番大事だと思います。その運をしっかり掴んでほしいですね。

宮本 生徒の皆さんを見ていると、本郷だからこそジェントルマンシップにあふれた生活をしているのではないかと想像します。このまま自信を持って頑張ってもらいたい。それと私は毎年、東大合格者

のランキングをファイルしていています。東大がすべてではありませんが、一つのものさしとして、本郷でも増えていくことを楽しみにしたいと思います。

理事長 本日は学校まで足をお運びいただきまして、本当にありがとうございます。これほどお元気な大先輩がいらつしゃることをうれしく思いますと共に、非常に大変な学校生活を過ごされたお話を賜り、この100周年は100回の卒業生がいらつしゃるからこそ、迎えることができるのだと痛感いたしました。10月30日の式典にも、ぜひ足をお運びいただきたいと思えます。改めて本日はありがとうございました。

（了）



松平頼壽と坪内逍遙

校歌誕生の経緯

女優

名管理専長

第四代理専長

早稲田大学演劇博物館招聘研究員

坪内ミキ子さん・松平頼武・松平頼昌・濱口久仁子さん



坪内逍遙さん

プロフィール

小説家、劇作家、評論家、翻訳家、教育家
／安政6（1859）年、美濃国太田村（現在の岐阜県美濃加茂市）生まれ。東京大学卒業後、東京専門学校（現早稲田大学）講師を経て教授。日本最初の近代的文学論『小説真髓』と、その実践となる小説『当世書生気質』を著し、写実主義を提唱した。明治23（1890）年には東京専門学校に文学科を創設し、翌年には『早稲田文学』を創刊。演劇運動にも尽力し、戯曲や舞踊劇を創作。文芸協会を組織し、早稲田大学演劇博物館の建設やシエークスピア全作品の完訳など、日本の近代文学や演劇の発展に大きな功績を残した。昭和4（1929）年には本郷中学校の校歌を作詞している。昭和10（1935）年没。



坪内ミキ子さん

プロフィール

女優／昭和15（1940）年生まれ。早稲田大学文学部英文科卒業。大叔父は文学者で東京専門学校（現早稲田大学）文学科の創設者でもある坪内逍遙。父は演劇評論家で早稲田大学教授団一期生の操。大学在学中の昭和37（1962）年に映画「陽気な殿様」で女優デビュー。映画、テレビドラマ、ワイドショーなど幅広いジャンルで活躍。主な出演作に、映画「座頭市」シリーズ、テレビドラマ「いじわるばあさん」「太閤記」「渥美清の泣いてたまるか」「竜馬がゆく」、情報バラエティ番組「連想ゲーム」「3時のあなただ」など。著書に、母との介護生活を綴った『母の介護 102歳で看取るまで』（新潮社）がある。



濱口久仁子さん

プロフィール

早稲田大学演劇博物館招聘研究員／早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了（演劇専攻）。邦楽舞踊の評論などを執筆。元財団法人逍遙協会事務局長。立教大学、拓殖大学、文京学院大学非常勤講師。
歌舞伎イチャホンガイド解説者。共著に『歌舞伎家・人・芸』（淡交社）、『ショウ・ステージの時代』（森話社）など。



縁の深さが窺い知れる 校歌誕生の経緯

理事長 本日は、私たちが誇りにしております坪内逍遙先生作詞の校歌や、坪内逍遙先生と本学創立者の松平頼壽公とのつながりについてお話を伺いたく、逍遙先生のご令孫であるミキ子さんをお招きできたことを光栄に思っております。

坪内 この度は、創立100周年おめでとうございます。また、お招きいただきありがとうございます。

理事長 我々の記録を見ると、昭和4（1929）年に制定された校歌は、頼壽公が逍遙先生に書いていただきたいと申し出たとありますが、二人がいつ出会い、どんな関係性にあったのかは明らかでないところが多くあります。まずは逍遙先生の研究をされている濱口さんから、校歌が生まれた経緯をご説明いた

けますか。

濱口 『逍遙日記』という手控帳に「松平頼壽伯の依頼もだしがたく、咄嗟に本郷中学校の校歌を作る」と記載があります。「もだしがたく」とは、そむく

わけにはいかないという意味ですね。しかも「咄嗟に」と続きますから、依頼があつてすぐ作詞に取り掛かったのでしょう。逍遙先生が生涯で校歌を作ったのは、早稲田中学校と本郷中学校だけです。この一文だけを読んでも、頼壽公とご縁の深さが窺い知れる気がします。

坪内 逍遙と頼壽公は、お能を通じてつながっていたそうですね。

濱口 逍遙先生は文学者としてさまざまな分野に手を伸ばした先駆けで、新しい時代になって日本舞踊や歌舞伎がどうなっているのか、関心を持っていました。お能に関しても多くの文章を残していて、『能楽』という雑誌への寄稿も多く、非常に心を寄せ

ていたと思います。

名誉理事長 私の祖父（頼壽公）

は宝生流で舞もやっていました。宝生会の資料には逍遙先生と祖父の名前が記録としてかなり残っているそうです。能楽に大変熱心で、徳川家や酒井家が集まる十徳会という謡講の会にも参加していました。祖父と逍遙先生との関わりについては、祖父がなぜ早稲田（旧東京専門学校）に入学したのかをたどると、手がかりがあるのではないかと思っています。というのも、中野武宮という高松藩の武家の出で、宝生流で大変な名を残されている方が祖父の後見人だったそうで、祖父が学習院高等科から早稲田に進んだ理由も、彼の勧めがあったからではないか。中野武宮は明治14年の政変後は大隈重信侯が結成した立憲改進黨に参画し、のちに衆議院議員も務められました。おそらくそうしたが、縁から祖父と逍遙先生がつながって、祖父は文学科ではなく法律科でしたが、何かの授業で教えを受

けていたのではないかと想像しています。

坪内 今と違って当時は他学部の学生でも聴講できたし、先生と学生の関係性も密でしょうからね。逍遙の講義の時は、教室の窓に学生たちが鈴なりに顔を並べていたという話を聞いたことがあります。頼壽公もご興味を持ってらしたのかも。

濱口 逍遙先生は教育熱心ですよ。ね。教え子の面倒見が良く、後々まで物心両面から援助をしていた。

坪内 『國語讀本』も作りましたし。ただ、7歳で養子に入った私の父（士行）は、被害者なんです（笑）。食事は一汁一菜、1週間にお魚が出るのは1度か2度で、せんべい布団で書生さんと同じように寝かされていた。外に私財を投げ打たないといけませんから、身内、特に男の子には厳しかったのだと思います。養女に迎えた飯塚くにさんはおいしいものを食べて、着飾っていたと聞いているんですけ

ど（笑）。教育者として熱意があったから、頼壽公が学校を創立されるって聞いて、応援したかったのでしよう。

英語講師時代に

接点があった？

理事長 教員からの質問で、逍

遙先生が東京開成学校（後の東京大学）の学生だった明治14（1881）年頃から明治20（1887）年まで、学費と生活費を稼ぐために進文学舎（後に進文学社）という私塾で英語の先生をしていたという記録があるそうです。進文学舎は本郷元町の高松藩下屋敷にあった藩校玉藻学校の後身で、その時点から何かつながりがあったのではないかと、う話なのですが。

名誉理事長 それは初めて聞いたけれど、今の水道橋、東京工芸高校のあたりに祖父の本邸があった、香川県の教育会長を務めてい

校歌誕生の経緯

ましたから、関連があったのかも
しれない。

濱口 教えていた時期は頼壽公
が学生になるずっと前ですから、
その時点で直接的なつながりは
なかったかもしれませんが、いず
れにしても今後の課題になりそ
うですね。校歌にも「咄嗟に作っ
た」と言っただけのもの、「むか
しは植樹の名どころ染井」「とり
わけ 紅葉の 錦に知らる」と、染
井の土地柄がしっかり織り込まれ
ていますし。

坪内 逍遙が学生の頃、頼壽公
はおいくつくらいですか？

名誉理事長 祖父が生まれたの
は明治7（1874）年ですから、
15歳は離れているでしょうね。

坪内 となると、頼壽公とのご縁
がいつから始まったかはわからな
いですね……。

名誉理事長 その私塾で英語教
師を始められた頃、祖父は8歳
くらいですからね。やはり、先ほ
どお話しした中野武営が縁を取
り持ったのではないかな。政治家、

実業家として大隈候とつながり
があったし、渋沢栄一とも関係が
深く、彼の後任として第二代東
京商工会議所の会頭にもなりま
した。先日、早稲田大学の田中
愛治総長のもとに伺って、大正6

（1917）年に起きた早稲田騒
動に関する資料を提供いただき
ました。天野為之学長の後任を
めぐる教職員や学生を巻き込ん
だ紛争で、当時、貴族院議員だっ
た祖父は高田早苗先生や逍遙先
生を支持し、中野武営や渋沢栄
一らが騒動の収拾にあたっていま
す。騒動の収束後、祖父は功勞
者として維持員にも選出されてい
ます。

坪内 それにしても、学校を創立
された頼壽公のご意志は素晴らし
いですね。当時は教育制度が変
わって、中学校の入学難が問題に
なっていたわけですよ。

名誉理事長 祖父は本郷区（当
時）の教育会長を務めています、
中学校の数が足りないことから、
本郷中学校の設立が決定されま

した。区民の方々からの寄付の申
し込みも多くいただいたそうです
が、区内には祖父が思い描くよう
な学校作りに適した土地がなかつ
た。そこで、当時祖父の母が住ん
でいた染井の別邸の一部に建てる
ことになったのです。「本郷学園
と言いながら本郷にないね」とよ
く言われますが（笑）、そういう
経緯がありました。

坪内 本郷区の方が後ろ盾になっ
てくださったことを忘れないよう
に「本郷」と名付けたんですね。
国の財産である子どもたちを育
てるのが教育ですから、非常に
素晴らしいことだと思います。

（了）



1929年に制定された当時の楽譜

学校法人本郷学園 創立百周年記念生徒舞台発表会（生徒主体）の開催

令和4年10月27日（木）

会場…埼玉県川口市・川口総合文化センター

中学生の部…10時開演。
高校生の部…13時30分開演

式次第（中学、高校共通）

第1部

開演・開式の辞

国歌斉唱（演奏）

校長挨拶

理事長挨拶

創立百周年記念ファンファーレ作曲コンペティション表彰

部活別ムービー上映

第2部

生徒会企画

日本文化部…和楽器演奏

応援団…リーダー演技披露

吹奏楽部…演奏

各部インタビュ…ムービー上映

100周年ムービー上映

北島康介氏ビデオメッセージ

校歌斉唱（演奏）

閉会の辞

B♭ トランペット 1

B♭ トランペット 2

トロンボーン 1

トロンボーン 3

トロンボーン 4

F ホルン

バックの楽譜は創立百周年記念ファンファーレ作曲コンペティションの優秀作品賞受賞作品



学校法人本郷学園 創立100周年記念式典の開催

令和4年10月30日(日) 10時～11時
会場…2号館講堂

出席者…学園役職員、退職学園役職員、同窓会代表、
父母の会役員・部長、歴代父母の会会長、
松平公益会役員、豊島区長、豊島区教育長
など

卒業生、関係物故者への黙祷
国歌演奏
創立100周年記念ファンファーレ紹介
式辞(理事長)
祝辞(同窓会会長、父母の会会長、松平公益会理事長、豊島区長)
謝辞(校長)
来賓紹介
※22P記載
タム留学決定者紹介
激励の言葉(同窓会会長)
校歌演奏
感謝の言葉(名誉理事長)
閉式の辞

式次第



創立百周年本郷祭(学園文化祭)の開催

令和4年10月29
(土)・30日(日)。

例年、9月に行つてきた本郷祭を創立記念日(10月27日)後の週末に移動し、本郷祭と創立記念行事をコラボレーションする。中学1、2年生の各クラスは創立100周年を絡めた企画を行う。



「本郷学園百周年の集い」
(ホームカミングデー)の実施

令和4年10月30日(日)

本郷祭2日目。中学1、2年生は「本郷学園100周年」にちなみ「100」や「100周年」に関連する企画を展示。歴史ある運動部は恒例の招待試合を、文化部の各部も趣向を凝らした企画を準備して先輩たちを迎える。同窓・同級生や恩師との交流の場として2号館3階選択C教室を開放。同窓会も展示室開設(同館5階選択E教室)。

B♭ Tpt. 1

B♭ Tpt. 2

Tbn. 1

Tbn. 2

Tbn. 3

Tbn. 4

F Hn.

Tba.

Con. Sn.

Cym.

Con. BD

特別編集「本郷学園創立100周年記念座談会」冊子の発行

※5Pより掲載

1. 卒業生座談会

百年の時を経て卒業生と語り合う「本郷の今と昔」

参加者

卒業生… 中学13回生 影山正隆さん

(元東洋大学教授。義太夫協会名誉会長)

中学18回生 今里隆さん

(建築家。元東京藝術大学客員教授)

中学20回生 宮本良さん

(元千葉県立佐倉東高等学校校長)

学園… 松平頼武名誉理事長。松平頼昌理事長。佐久間昭浩校長

司会… 高校8回生 同窓会会長 南谷修さん

2. 松平頼壽と坪内逍遙「校歌誕生の経緯」

参加者

ゲスト… 坪内みき子さん(女優)。濱口久仁子さん(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)

Bb Tpt. 1 学園… 松平頼武名誉理事長。松平頼昌理

事長

Tbn

Tbn

Tbn

Tbn. 4

記念誌の発行

1. 『本郷学園100年史』

学園の100年間に関する詳細な事実

の記述や

数値、写真

などデータ

をまとめる

(データ版

も制作)。

2. 『本郷学園100年のあゆみ』

『本郷学園100年史』の簡易版として、

100年間の

「本郷のあゆ

み」を冊子と

して編集し、

生徒、学園関

係者に配布。

F

T

Cor

Cor



創立百周年記念ファンファーレ作曲 コンペティションの開催

生徒を対象にファンファーレ作品を公募し、応募生徒11人、応募作品10作品（1作品は共作）を数えた。

最優秀作品賞・・・1作品共作（高校2年・王照衡、柿澤康介君）

入選・・・2作品（高校3年・小平暖己、吉川侑佑君）

佳作・・・2作品（高校3年・二瓶智樹、渡部真人君）



記念グッズの作成



©2022 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

同窓生のアーティスト・村上隆さん（1980年卒業＝高校32回生）デザインのマグカップ



ヘーバーウエイト



記念切手



クリップ



ロゴマーク

チーム留学支援制度の創設

希望者を選考し、令和4年度より毎年3〜4名をニュージーランド、アメリカ、イギリスに派出する。留学時期と期間は3学期、概ね3カ月とする。初年度の対象生徒はアメリカ1人、イギリス2人、ニュージーランド4人

特設ホームページの開設

令和2年4月より立ち上げ、理事長・校長挨拶、建学の精神・教育理念、100年のあゆみ、記念募金の案内などを掲示するとともに、折々の情報を発信。特別企画として卒業生、退職教職員の思い出や在校生へのメッセージを公開。

動画の配信

1. 本郷高校ラグビー部座談会「100年を繋ぐ歴史と変遷」
2. 親子座談会「家族で語る本郷」

創立百周年記念募金の実施

令和2（2020）年4月1日〜令和5

（2023）年3月31日の3年間

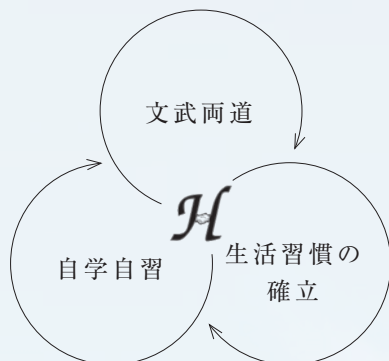
実績…68,854,890円（1,619件）

（現物寄付を除く）

目的…1. チーム留学支援

2. 教育設備の充実

Musical score for brass instruments (B♭ Tpt. 1, B♭ Tpt. 2, Tbn. 1, Tbn. 2, Tbn. 3, Tbn. 4, F Hn., Tba., Con. Sn., Cym., Con. BD) with text overlays. The score is in 4/4 time and features a melody in the upper brass parts. The text is overlaid on the staves, providing information about the school's 100th anniversary activities.



3つの教育方針

「文武両道」「自学自習」「生活習慣の確立」
仲間同士で切磋琢磨し、お互いが刺激し合うことで
次世代を担うリーダーとしてふさわしい
逞しい男子へと成長します

建学の精神

個性を尊重した教育を通して国家有為の人材を育成する

教育目標

強健／心身両全にして、困難に耐えうる
厳正／志操堅固にして、自らに厳しく中正な判断をなしうる
勤勉／責任を重んじ、誠心誠意つねに自己の務めに精励する



技術室 (4号館)

教育の場では珍しいパネルソーを設置し、学校内での“ものづくり”における中心的な場所です。



カフェテリア (6号館)

調理スタッフが腕によりをかけた数々のメニューは、どれも愛情がいっぱい詰まっています。中学生は放課後(土曜日含む)の利用が可能です。



自習室 (6号館)

朝と放課後に使用可能。静かで落ち着いた雰囲気の中で勉強に集中することができます。室内のデザインは生徒が考案しました。



永井体育館（1号館）

体育の授業やクラブ活動で活用されるほか、朝礼や学年集会、講演会など様々な用途で使用されます。バスケットボールのコートが2面とれる広さで冷暖房も完備しています。



屋上（1号館）

明るい陽を浴び、さわやかな風に吹かれてテニスやバレーボール。照明設備も完備しているので、ナイターでの練習も可能です。



講堂（2号館）

固定席362席、その下には全自動で出し入れできる可動席258席を備えた、およそ1,000人収容可能な講堂。屋内運動施設としても利用できます。



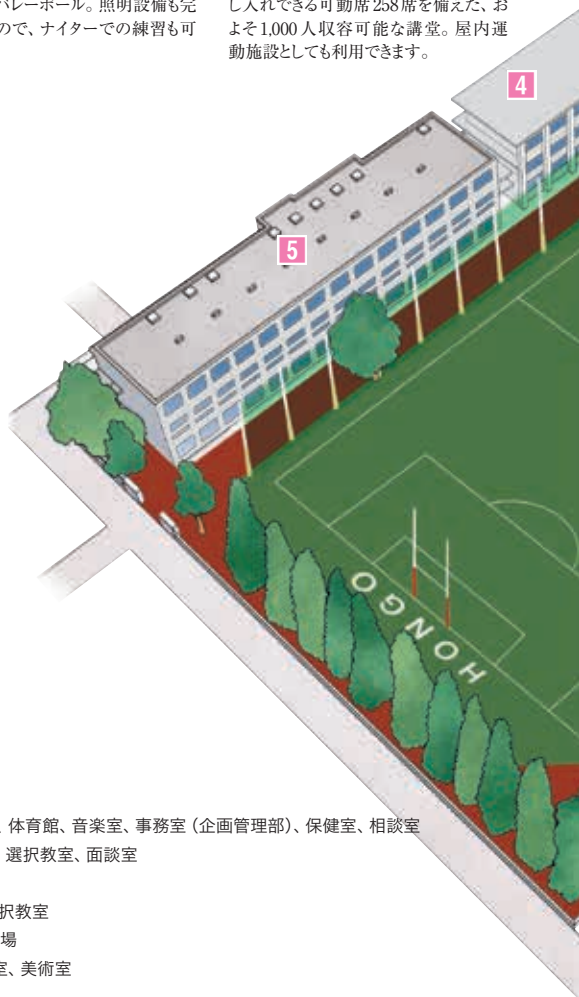
図書館（2号館）

生徒がアクセスしやすい2階に位置し、約40,000冊の全蔵書がデータベース化されています。



ラーニング・commons（2号館）

グループ学習やディスカッション、自習など様々な学習形態に対応できるスペースです。



- 1 1号館 職員室、教室、特別教室、屋上テニスコート、体育館、音楽室、事務室（企画管理部）、保健室、相談室
- 2 2号館 講堂、図書館、ラーニング・commons、教室、選択教室、面談室
- 3 3号館 教室、理科実験室、理科講義室
- 4 4号館 多目的ホール、技術室、美術室、工芸室、選択教室
- 5 5号館 コンピュータ室、家庭科調理実習室、柔剣道場
- 6 6号館 カフェテリア、自習室、視聴覚大教室、音楽室、美術室
- 7 グラウンド
- 8 部室棟
- 9 もみじ幼稚園



6年間一貫教育体制

EDUCATION SYSTEM

中高一貫ならではの密度の濃い教育を実現

12才からの多感な時期。

子どもたちは可能性の翼を大きく広げてあらゆることをどん欲に吸収していきます。

そのようなときだからこそ一人ひとりがのびやかに学び、自分の夢を見つけられるように、本郷では細やかで行き届いた教育プログラムを編成しています。

中学では人間的な幅を広げることを主眼に。高校では夢をあきらめないたくましさ、揺るぎない自信をつける教育を。厳選されたカリキュラムがそれを実現します。

中学

1 年次

294名(7クラス)

中1履修カリキュラム修了

2 年次

301名(7クラス)

中2履修カリキュラム修了

3 年次

297名(7クラス)

高1履修カリキュラム修了

入学

学力均等のクラス編成で、学校生活のベースを築くとともに、学力の定着をはかります。

高校

1 年次

全249名 (6クラス) 特進 88名 進学 161名

高2履修カリキュラム修了

特進コース

進学コース

2 年次

全243名 (6クラス) 特進 文科 33名 理科 55名 進学 文科 78名 理科 77名

高3履修カリキュラム修了

特進コース (文科・理科)

進学コース (文科・理科)

3 年次

全314名 (8クラス) 特進 文科 30名 理科 57名 進学 文科110名 理科117名

受験対策演習

特進コース (文科・理科)

進学コース (文科・理科)

大学受験

※特進コース 東京大学、京都大学、一橋大学、東京工業大学の最難関国立4大学への進学で、希望と成績により編成されます。

年間行事

CAMPUS CALENDAR

4

- 入学式
- オリエンテーション(中1・高1)
- 定期健康診断
- 校外授業(中2・中3)
- 競技大会(高校)

8

- 海外研修
- 林間学校(中2)
- サマーセミナー [教養講座] [教科講習]

12

- 期末考査
- スキー教室(中1・中3)



5

- 生徒会選挙
- 競技大会(中学)
- 校外授業(高2・高3)
- 進学講演(高1)
- 中間考査

9

- 本郷祭



1

- 百人一首大会(中1)
- 寒稽古(柔道・剣道)

6

- 体育祭



10

- 中間考査
- 修学旅行(中3・高2)

2

- 合唱コンクール(中学)

7

- 期末考査
- サマーセミナー [教養講座] [教科講習]
- 海外研修

11

- 情操教育
- 生徒会選挙
- マラソン大会

3

- 学年末考査
- 修了式
- 卒業式



クラブ活動

クラブ名	部員数	クラブ名	部員数
剣道部	中学校 15人 高校 6人	軟式野球部	中学 59人
サッカー部	中学校 119人 高校 72人	硬式野球部	高校 32人
柔道部	中学校 6人 高校 12人	ラグビー部	中学校 86人 高校 63人
スキー部	中学校 16人 高校 21人	陸上競技部	中学校 50人 高校 40人
卓球部	中学校 44人 高校 21人	フェンシング部	高校 40人
テニス部	中学校 53人 高校 29人	ボウリング部	中学校 14人 高校 20人
バスケットボール部	中学校 58人 高校 36人	合気道部	中学校 9人 高校 2人
バドミントン部	中学校 68人 高校 25人	ウエイトトレーニング同好会	高校 14人
バレーボール部	中学校 43人 高校 28人	少林寺拳法部	中学校 5人 高校 1人
水泳部	中学校 2人 高校 4人	応援部	中学校 27人 高校 16人
吹奏楽部	中学校 12人 高校 25人	マイコン部	中学校 38人 高校 23人
囲碁将棋部	中学校 12人 高校 9人	料理研究部	高校 28人
科学部	中学校 25人 高校 9人	奇術部	中学校 11人 高校 4人
鉄道研究部	中学校 18人 高校 13人	地学部	中学校 16人 高校 6人
漫画劇画部	中学校 0人 高校 2人	美術・クラフト部	中学校 2人 高校 7人
生物部	中学校 8人 高校 5人	歴史研究部	中学校 3人 高校 3人
ESS部	中学校 1人 高校 10人	社会部	中学校 4人 高校 14人
日本文化部	中学校 4人 高校 6人	クイズ研究部	中学校 14人 高校 8人
軽音楽部	高校 15人	園芸部	中学校 2人 高校 2人

生徒会中央委員会	役員は全員、生徒会選挙で選ばれた精鋭たちです。快適な学校生活となるようクリエイティブかつアクティブに活動しています。詳細は本郷中学校・高等学校生徒会のHPをご覧ください。
新聞委員会	『本郷中学校新聞』『本郷高校新聞』『本郷学園新聞』を発行しています。委員会メンバーは、クラブ活動のような雰囲気の中で楽しく活動しています。
図書委員会	中学・高校各クラスから2名以上の生徒で構成されています。図書委員のお勧め本紹介や独自の企画展示などの図書館利用を促進する活動のほか、本郷祭では古本市やビブリオバトルを開催しています。

教員紹介



校長

さくま あきひろ
佐久間 昭浩
英語



理事長

まつだいら よりまさ
松平 頼昌

高校



いじま だいち
飯嶋 大一

3-4

数学



なかごみ こういちろう
中込 耿一郎

2-1

国語



おがわ hitoshi
小川 均

1-1

理科



きむら ともひこ
木村 友彦

国語



いわなで よしのり
岩撫 義利

1-5

国語



ふくしま ようすけ
福島 庸介

1-4

理科



もり だいすけ
森 大輔

1-3

美術・工芸



いくち たつや
井口 辰也

1-2

国語

学年主任

高校教頭

高1

記載事項

●名前 ●クラス ●教科 ※敬称は略させていただきます。



あらき のぶお
荒木 信夫

1-3 副

数 学



くらさわ みきひこ
倉澤 幹彦

1-2 副

英 語



やまがた さちえ
山形 幸恵

1-1 副

英 語



とみざわ としお
富澤 利夫

1-6

数 学



うさみ つよし
宇佐美 豪士

2-3

理 科



とまる こうすけ
都丸 恒介

2-2

英 語

高
2



さいとう よしまさ
齋藤 悦正

1-5・6 副

社 会



わたなべ のりたけ
渡邊 宣武

1-4 副

保健体育



こうだ よしひろ
合田 吉博

2-1 副

保健体育



こまつ ようへい
小松 洋平

2-7・8

英 語



ほんだ てるゆき
本多 照之

2-5・6

国 語



ささき りゅうた
佐々木 隆多

2-4

数 学



いしかわ さとる
石川 理

2-5・6・7・8 副

理 科



よこやま しゅういち
横山 省一

2-4 副

社 会



やまなし ひであき
山梨 英克

2-3 副

数 学



みかみ こうじ
三上 幸治

2-2 副

社 会



そねのみる
曾根 穂

3-5

理 科



さかたのまさし
阪田 雅志

3-3

保健体育



かけやひろし
掛谷 博史

3-2

英 語



きたむらひろき
北村 宏貴

3-1

英 語



かねこやすはる
金子 泰晴

3-1・7・8副

社 会



ごとうやすはる
後藤 泰治

3-9・10

数 学



よこやまともひこ
横山 友彦

3-7・8

国 語



ごとうたかひろ
後藤 高弘

3-6

理 科



わたなべまさき
渡辺 昌起

3-5副

数 学



えんどうちあき
遠藤 千秋

3-4副

情 報



うつしかわまさお
移川 真男

3-3・9・10副

社 会



ますだみのり
増田 稔

3-2副

国 語



かわぶちふみあき
川沼 文明

3-6副

英 語

中 学

中学教頭

学年主任

中
1



まえの たかし
前野 隆司

3-1

理 科



さいとう かずき
齋藤 一貴

2-1

英 語



のがみ あつし
野上 敦司

1-1

保健体育



ふくしま ひろし
福島 浩

保健体育



きたがわ ようじろう
北川 陽二郎

1-3

国 語



こだか あやこ
小高 綾子

1-2

技術家庭(家庭)



よこお あきひろ
横尾 朗大

1-2

国 語



いじ かおり
井地 薫

1-1

英 語



たなか ひさし
田中 悠

1-5

英 語



ひらい ひであき
平井 秀明

1-4

数 学



うかむら よしたろう
宇賀村 芳太郎

1-4

社 会



よしおか こういち
吉岡 孝一

1-3

理 科



おのさか たかし
小野坂 貴司

1-7

英 語



あきやま つねひろ
秋山 道弘

1-6

音 楽



にしに たに ひでき
西谷 英樹

1-6

社 会



ふじの たかひさ
藤野 高久

1-5

数 学



かしま くにひろ
鹿島 国裕

2-4

英 語



くぼ のりみち
久保 徳道

2-3

保健体育



いしかわ やすお
石川 泰夫

2-2

理 科



のむら りゅうた
野村 竜太

1-7

数 学

中
2



かねこ こうたろう
金子 孝太郎

2-1 副

数 学



なかやま やつひろ
中山 八歩

2-7

社 会



わこう ともゆき
若生 知行

2-6

国 語



いしなげ やすあき
石椛 康朗

2-5

数 学



たけうち たけひろ
竹内 武弘

2-5 副

国 語



みなみさき よしゆき
峰岸 善之

2-4 副

国 語



こみや あきひこ
小宮 明彦

2-3 副

英 語



いわの ひであき
岩野 英明

2-2 副

情 報



はた けいすけ
保田 啓介

3-3

数 学



ふじおか まこと
藤岡 誠

3-2

国 語

中
3



はしもと ひろあき
橋本 広彬

2-7 副

数 学



いがり なおこ
猪狩 尚子

2-6 副

理 科



みやはら せいすけ
宮原 聖介

3-7

英語



たかはし ひろゆき
高橋 浩之

3-6

理科



あきあ よしのり
秋保 義規

3-5

国語



こすぎ としひろ
小杉 俊啓

3-4

理科



よしむら ひろし
吉村 浩

3-4副

数学



まつお やよい
松尾 弥生

3-3副

社会



あらい なつこ
新井 奈津子

3-2副

英語



さいとう かつまさ
齋藤 勝将

3-1副

保健体育



かみむら けん
上村 謙

3-7副

司書教諭



くぼ かずき
久保 一樹

3-6副

技術家庭(技術)



ひの ともあき
日野 知頭

3-5副

社会

会員相互の意見と親睦

- 理事会ならびに定期総会開催
 Ⅱ 日時：6月17日(土)15時より。会場：母校1号館2階会議室

- 本郷祭(学園文化祭)同窓会
 展示室開設Ⅱ 9月23日(土)、24日(日)

- はたち・還暦・30歳の集いなど
 同期会の開催支援

会誌の発行

- 「銀友」52号Ⅱ発行日：6月1日。発行部数：15,000部。

A5版

母校の後援

- 各分野における全国規模の大会等で活躍した生徒を表彰

- 卒業生全員に記念品贈呈

会員名簿の整理

- 同窓会会員名簿の管理とそれ
 にもなう卒業生などの新会員・会員の住所変更登録、会

費納入者・物故者の記録および

「銀友」掲載用原稿作成など
 必要な各種事務処理Ⅱ業者に
 委託

ホームページの管理

- 同窓会行事の告知・開催報告
 ならびに更新、既刊を含む同
 窓会誌「銀友」の転載、住所変
 更受け付け、同期会等の開催
 告知・報告掲載など

その他の事業

- 入学・卒業式、体育祭など学
 校行事への役員代表の出席、
 参観

会の運営

- 運営委員会開催日時：4月15日(土)15時、5月20日(土)15時、7月15日(土)15時、9月2日(土)15時、10月21日(土)15時、11月18日(土)15時、12月16日(土)15時、1月20日(土)15時、2月17日(土)15時、3月

16日(土)15時。会場：いずれも
 母校会議室

- 「はたちの集い」(第17回)。

2022年Ⅱ令和4年3月卒業生ハ高校74回生V対象)実行委員会開催Ⅱ日時：2月17日(土)13時。会場：母校会議室

- 「はたちの集い」(第19回)。

2024年令和6年3月卒業生ハ高校76回生V対象)実行委員会結成：3月15日(金)正午。母校会議室



同窓会からのお願い

年会費納入にぜひともご協力ください 一口：2,000円以上

巻末にとじてある「振込取扱票」の「ご依頼人」欄に住所、**お名前**と同窓会会員番号（宛名の下の8桁の数字）を明記して、振り込んでください

インターネットバンキングを含む銀行振り込みも可能です。

銀行口座は

三菱UFJ銀行駒込支店普通口座0821142 本郷学園同窓会です。

その際は**お名前**と同窓会会員番号（宛名の下の8桁の数字）を明記してください

2023年度収支予算案 2023年4月1日～2024年3月31日

(単位：円)

科 目	収 入	科 目	支 出
前年度繰越金	6,816,936	総会(1回)、理事会(1回)開催	200,000
新卒者同窓会入会金	3,000,000	資料作成費	100,000
同窓会年会費	1,800,000	懇親会費	100,000
はたちの集い	400,000	会誌発行費(15,000部)	3,600,000
会費	150,000	銀友制作費	
学校側負担金	250,000	宛名印刷費	
懇親会会費	100,000	ラッピング費	
理事会	100,000	発送費	
総会	0	編集諸経費	
雑収入	0	行事部門	1,800,000
		はたちの集い	700,000
		本郷祭同窓会出展費	200,000
		同窓会開催支援費(活性化)	100,000
		活躍した生徒への激励費	500,000
		卒業生記念品費	150,000
		学園懇親会費	150,000
		会員名簿保守管理費	300,000
		ホームページ年間契約料	150,000
		運営委員会交通費補助	200,000
		事務費	150,000
		備品費	
		消耗品費	
		資料作成費	
		通信費	
		雑費	
		支出合計	6,400,000
		次年度繰越金	5,716,936
合 計	12,116,936	合 計	12,116,936

2022年度 事業報告

2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

(下記の項目以外は新型コロナウイルス感染症予防のため中止)

- 本郷祭(学園文化祭)同窓会展示室の開設
開設日:10月29日(土)、30日(日)会場:母校2号館教室
- 会誌の発行
「銀友」51号II発行日:5月1日。発行部数:15,000部。A5版
- 母校の後援
各分野における全国規模の大会等で活躍した生徒23人(15件)を表彰
- 卒業生全員314人に記念品として印鑑を学園ならびに父母の会と共同で贈呈
- 会員名簿の整理
同窓会会員名簿の管理とそれにとともなう卒業生などの新会員・会員の住所変更登録。会費納入者・物故者の記録および「銀友」掲載用の原稿作成など必要な各種事務処理II業者に委託
- ホームページの管理
同窓会行事の告知・開催報告ならびに更新。既刊を含む同窓会誌「銀友」の転載。住所変更受け付け、同期会等の開催告知・報告掲載など。
- その他
卒業式に役員代表が出席
- 会の運営
運営委員会開催II日時:7月16日(金)13時(会場:東洋文庫オリエントカフエ)、9月17日(土)15時(会場:以下いずれも母校会議室)、10月15日(土)15時、11月19日(土)15時、12月17日(土)15時、2月18日(土)15時、3月18日(土)15時
「はたちの集い」(第18回。2023年II令和5年3月卒業生入高校75回生V対象)実行委員会結成II3月15日(水)。文書で通知

2022年度収支決算報告書

2022年4月1日~2023年3月31日 (単位:円)

科 目	収 入	科 目	支 出
前年度繰越金	5,980,053	総会(0回)、理事会(0回)開催	0
新卒者同窓会入会金	3,140,000	資料作成費	2,950,027 1,484,285 153,998 267,210 1,022,534 22,000 882,000 0 495,000 0 230,000 157,000 0 312,429 0 131,000 12,690 0 700 0 0 11,990
同窓会年会費	1,985,000	懇親会費	
はたちの集い	0	会誌発行費(15,000部)	
会費		銀友制作費	
学園側負担金		宛名印刷費	
本郷祭同窓会懇親会会費	0	ラッピング費	
懇親会会費	0	発送費	
理事会		編集諸経費	
総会		行事部門	
寄付	0	はたちの集い	
雑収入	29	本郷祭同窓会出展費	495,000
		同期会開催支援費(活性化)	0
		活躍した生徒への激励費	230,000
		卒業生記念品費	157,000
		学園懇親会費	0
		会員名簿保守管理費	312,429
		ホームページ年間契約料	0
		運営委員会交通費補助	131,000
		事務費	12,690
		備品費	0
		消耗品費	700
		資料作成費	0
		通信費	0
		雑費	11,990
		支出合計	4,288,146
		次年度繰越金	6,816,936
合 計	11,105,082	合 計	11,105,082

預貯金・現金明細

(単位:円)

銀行・他	預貯金残高	定期預金	次期繰越金
三菱UFJ銀行	6,621,417	0	
郵貯銀行	186,633	0	
現金	8,886		
合 計	6,816,936	0	6,816,936

収入の部及び支出の部について、各科目ごとに伝票・領収書等の帳票類を精査したところ、それぞれ適正に誤りなく仕訳けされ、整理されていた。また、期末での現金残高及び金融機関への預金残高も相違なく確認した。したがって、2023年度の収支決算は公正かつ妥当なものであると認め、ここに報告する。
2023年4月11日 監事 木塚順夫 熊木宏治

2022年度表彰報告

各分野における全国規模の大会等で活躍した生徒23人(15件)を表彰

1. JOCジュニアオリンピック杯第16回U

18陸上競技大会男子100mに出場

(ハ高校)

遠藤 深一

郎君) 10月

30日表彰



5. 地方創生☆政策アイデアコンテスト

2022に「地域交流でつながる未

来の移住者たち」との研究テーマで

応募し優秀賞に(ハ高校)

井上 煌平

君) 1月20

日表彰



6. 令和4年度「大切な命を守る」全国中

学・高校生作文コンクールで警察庁

犯罪被害者支援室長賞を受賞(ハ中

学)

優、萩原

修志君)



2. 第13回坊ちゃん科学賞研究論文コン

テストに「金属板における減衰振動」

との研究題目で応募し優良入賞(ハ

高校)

3. 第13回坊ちゃん科学賞研究論文コン

テストに「コップから流れる水の形」

との研究題目で応募し入賞(ハ高校

)

4. 第13回坊ちゃん科学賞研究論文コンテ
ストに「ミルククラウンの後に発生す
る水柱の研究」との研究題目で応募し
入賞(ハ高校)

前田啓嘉、小塚敬太君
以上4人(3件) 1月10日表彰



7. 令和4年度「税についての作

文」全国中学・高校生作文コ

ンクールで全国納税貯蓄組

合連合会優秀賞を受賞(ハ中

学)

8. 第64回水道週間作品コン

クール・作文の部で東京都

知事賞を受賞(ハ中学)

遠藤

寛也君) 以上4人(3件) 1月21日表彰



9

第28回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会に出場(八中学▽小坂田穰君)
1月24日
表彰



10

第23回大阪国際音楽コンクールで連弾部門第1位に(八高校▽山下一郎、山下順一郎君)
1月27日
表彰



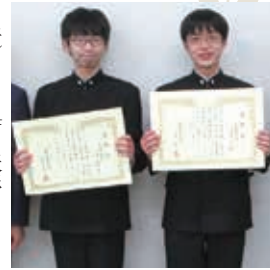
11

第17回朝永振一郎記念「科学の芽」賞に「水のドームの形成条件」の研究題目で応募し努力賞に(八中学▽菅野天智、敦賀弘晃君)



12

第17回朝永振一郎記念「科学の芽」賞に「揚力と回転数の関係について」の研究題目で応募し努力賞に(八中学▽西本壮、大滝光喜君)



以上4人(2件)2月14日表彰

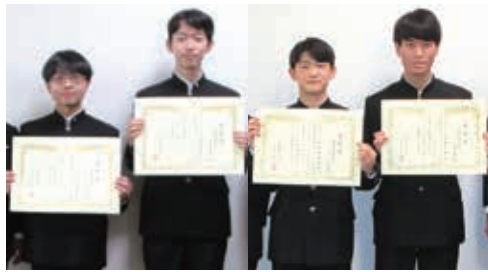
13

本郷学園創立百周年記念ファンファーレ作曲コンペティションに応募し最優秀作品賞に(八高校▽王照衡、柿澤康介君)3月10日表彰



14

本郷学園創立百周年記念ファンファーレ作曲コンペティションに応募し入選に(八高校▽小平暖己、吉川侑佑君)



15

本郷学園創立百周年記念ファンファーレ作曲コンペティションに応募し佳作に(八高校▽二瓶智樹、渡部真人君)
以上4人(2件)3月15日表彰

本郷学園同窓会役員(案)

任期：2026年度定期総会まで

	氏名	卒業年	卒業回期		氏名	卒業年	卒業回期
名誉会長					押田松児	1971 (昭和 46) 年	高校 23
	松平頼昌	(学園理事長)			田中良一	1972 (昭和 47) 年	高校 24
会長・理事					野田悠二	1972 (昭和 47) 年	高校 24
	南谷 修	1956 (昭和 31) 年	高校 8		中嶋健至	1973 (昭和 48) 年	高校 25
副会長・理事					平野隆之	1974 (昭和 49) 年	高校 26
	秋元幹夫	1955 (昭和 30) 年	高校 7		鈴木利一	1975 (昭和 50) 年	高校 27
	市倉洋一	1960 (昭和 35) 年	高校 12		大蔵利文	1976 (昭和 51) 年	高校 28
	山際幸雄	1966 (昭和 41) 年	高校 18		岡野智彦	1976 (昭和 51) 年	高校 28
	梶 徳治	1968 (昭和 43) 年	高校 20		神谷秀行	1976 (昭和 51) 年	高校 28
	千野邦雄	1973 (昭和 48) 年	高校 25		川俣 弘	1976 (昭和 51) 年	高校 28
	立入健司	1974 (昭和 49) 年	高校 26		馬島善宏	1976 (昭和 51) 年	高校 28
	野口貴洋	1983 (昭和 58) 年	高校 35		塚本雅一	1977 (昭和 52) 年	高校 29
監事					鶴坂宏文	1977 (昭和 52) 年	高校 29
	木塚順夫	1956 (昭和 31) 年	高校 8		米澤 潤	1980 (昭和 55) 年	高校 32
	赤井健郎	1970 (昭和 45) 年	高校 22		松本伸行	1980 (昭和 55) 年	高校 32
顧問					清水一郎	1980 (昭和 55) 年	高校 32
	佐久間昭浩	(校長)			小池武次	1983 (昭和 58) 年	高校 35
	山内英夫	1951 (昭和 26) 年	高校 3		大久保芳史	1983 (昭和 58) 年	高校 35
運営委員・理事					岡本明久	1988 (昭和 63) 年	高校 40
	篠喜三郎	1954 (昭和 29) 年	高校 6		移川真男	1990 (平成 2) 年	高校 42
	新澤米次	1956 (昭和 31) 年	高校 8		下村大樹	1993 (平成 5) 年	高校 45
	井上栄三郎	1958 (昭和 33) 年	高校 10		佐藤憲一	1993 (平成 5) 年	高校 45
	竹村義教	1960 (昭和 35) 年	高校 12		野村竜太	1994 (平成 6) 年	高校 46
	砂泊照男	1971 (昭和 46) 年	高校 23		杉下和行	1996 (平成 8) 年	高校 48
	石井聖一	1973 (昭和 48) 年	高校 25		薄井健吾	1997 (平成 9) 年	高校 49
	泉 昇一	1977 (昭和 52) 年	高校 29		中井秀昌	2001 (平成 13) 年	高校 53
	竹野谷茂	1983 (昭和 58) 年	高校 35		吉澤 徹	2004 (平成 16) 年	高校 56
	佐々木晋一	1985 (昭和 60) 年	高校 37		西村利来	2004 (平成 16) 年	高校 56
理事					池田貴生	2005 (平成 17) 年	高校 57
	野木惣市	1945 (昭和 20) 年	中学 19		宮川 元	2005 (平成 17) 年	高校 57
	地曳秀雄	1951 (昭和 26) 年	高校 3		石川広明	2006 (平成 18) 年	高校 58
	渡辺昭義	1954 (昭和 29) 年	高校 6		永瀬智也	2006 (平成 18) 年	高校 58
	久保國男	1960 (昭和 35) 年	高校 12		大重 崇	2007 (平成 19) 年	高校 59
	高田隆義	1963 (昭和 38) 年	高校 15		大野太郎	2007 (平成 19) 年	高校 59
	小倉義雄	1966 (昭和 41) 年	高校 18		小林祐樹	2010 (平成 22) 年	高校 62
	宮沢正喜	1966 (昭和 41) 年	高校 18		關田宗範	2011 (平成 23) 年	高校 63
	関塚正治	1968 (昭和 43) 年	高校 20		北野史浩	2013 (平成 25) 年	高校 65
	内山正敏	1968 (昭和 43) 年	高校 20		田口雄飛	2013 (平成 25) 年	高校 65
	中田守喜	1969 (昭和 44) 年	高校 21		立花光陽	2017 (平成 29) 年	高校 69
	堀井貞夫	1969 (昭和 44) 年	高校 21		伊藤瑞貴	2017 (平成 29) 年	高校 69
	早川盛男	1969 (昭和 44) 年	高校 21		畠中晃平	2017 (平成 29) 年	高校 69

本郷学園同窓会則

◆ 第一章 名称及び位置 ◆

《名称》

第一条 本会とは本郷学園同窓会という。

《位置》

第二条 本会は事務所を東京都豊島区駒込四丁目十一番一号学校法人本郷学園内に置く。

◆ 第二章 目的 ◆

《目的》

第三条 本会は会員相互の親睦を深め母校の発展をはかることを目的とする。

《事業》

第四条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員の親睦会の開催
- (2) 会誌の発行
- (3) 母校の後援
- (4) 会員名簿の整備管理
- (5) ホームページの管理
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

◆ 第三章 組織及び役員 ◆

《会員》

第五条 本会は次の会員により組織する。

- (1) 旧制本郷中学校及び本郷高等学校卒業生
- (2) 本郷中学校卒業生及び旧制本郷中学校並びに本郷高等学校に在籍したことのある者で理事会の承認を得た者

《役員》

第六条 本会には次の役員を置く。

会長 一名、副会長 若干名、理事 各任期若干名、監事 二名

《役員選出》

第七条 前条の役員は次の方法により定める。

- (1) 会長は理事会において理事の互選により選出する。
- (2) 副会長は理事の中から会長の委嘱によつて定める。
- (3) 理事は各回期の中から選出し、総会の承認を得るものとす。ただし選出のない回期からの理事は会長が委嘱し、総会の承認を得るものとする。

(4) 監事は総会において会員の中から選出する。

《名誉会長及び顧問、相談役の設置》

- 第八条 本会に名誉会長及び顧問、相談役を置くことができる。
- 二 名誉会長は本郷学園理事長にこれを委嘱する。
- 三 顧問は本郷学園名誉校長及び校長並びに本会会長経験者にこれを委嘱する。
- 四 相談役は副会長、理事、監事の経験者の中より会長がこれを委嘱する。

《役員の仕事》

第九条 役員は次の任務を行う。

- (1) 会長は会を代表して公務を総括執行する。
- (2) 副会長は会長を補佐し会長事故あるときは、副会長間において定める順位により会長事務を代行する。
- (3) 理事は理事会に出席して本会の運営に参画する。
- (4) 監事は会計を監査する。又、理事会及び運営委員会に出席し意見を述べることが出来る。
- (5) 理事及び監事は相互に兼ねることが出来ない。
- (6) 顧問、相談役は会長の要請により会議に出席する。

《役員の任期及び解任》

- 第十条 役員の任期は三年とする。ただし再任は妨げない。
- 二 補充により選出された役員の任期は三年間の当該任期の残任期間とする。
- 三 前第一項、第二項にかかわらず、役員は次期役員の出日までは、なお、その任務を行う。
- 四 会長は役員が同窓会の役員としてふさわしくない行為を行った場合、又は特別の事情がある場合には、副会長と協議のうえ当該役員を解任することができる。

◆ 第四章 会議 ◆

《会議》

第十二条 本会が行う会議は総会、理事会、運営委員会とする。

- 二 会議の議長は会長がこれにあたる。

《総会》

第十三条 定期総会は毎年一回、事業年度終了後三か月以内に開催し、次の事項を審議し議決する。

- (1) 事業計画及び収支予算の決定

- (2) 会則の改正
 - (3) 理事の承認並びに監事の選出
 - (4) 事業報告及び収支決算の承認
 - (5) その他本会の運営に関する重要事項
- 二 会長は理事会の議決により臨時に総会を招集することができる。

《理事會》

第十三条 理事會は会長の要請もしくはは理事の過半数の請求により開催する。

二 理事會は次の事項を審議し議決する。

- (1) 会長を選出
- (2) 第五条第2号に該当する会員の承認
- (3) 総会の議決した事項の執行
- (4) 総会に付議すべき事項
- (5) 運営委員会より付議された事項
- (6) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

《運営委員會》

第十四条 運営委員會は会長及び副会長、本会の事業を担当する理事で構成する。

二 運営委員會は会長の招集によつて開催し、本会の日常の運営にあたる。

第十五条 第十二条第一項並びに第十三条第二項にかかわらず、緊急を要する事案は運営委員会において処理し、事後、理事會の承認を得るものとする。

◆ 第五章 事業及び議決 ◆

《事業の遂行》
第十六条 会長は、企画及び会誌の発行、会計、庶務等の副会長の担当を定め、かつ、これを補佐する理事を指名する。担当副会長は理事の協力を得て本会の事業を行う。

《事務取扱者》

第十七条 本会の事務を処理するため事務取扱者を置く。担当者は運営委員会委員の中より会長が委嘱する。

《議決》

第十八条 会員は総会において発言権、議決権を有する。

二 総会、理事會の議決は出席者の過半数をもつて決する。可否同数の場合は議長が決める。

◆ 第六章 會計 ◆

《事業年度》

第十九条 本会の會計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終わる。

《事業計画及び収支予算》

第二十条 本会の事業計画書及び収支予算書は会長が作成し、総会の議決を得なければならない。ただし総会までの間は理事會の議決によることを妨げない。

《事業報告及び収支決算》

第二十一条 本会の事業報告書及び収支決算書は、会長が事業年度終了後遅滞なく作成し、監事の監査を経たうえ、総会の議決を得なければならない。

《會計》

第二十二条 本会の経費及び事業資金は次をもつて充当する。

- (1) 入会金
 - (2) 会員の年会費
 - (3) 利息収入
 - (4) 寄付金品
- 二 いったん納入した金品は一切返還しない。
- 第二十三条 会員は年会費を二口式千円として二口以上を毎年納付するものとする。
- 二 卒業時の入会金は壹万円とする。

◆ 第七章 会則の改正 ◆

第二十四条 本会則は総会において出席会員の三分の二以上の賛成を経て改正することができる。

◆ 付則 ◆

本会則は平成十五年六月二十一日より施行する。
本改正会則は平成二十二年六月十九日より施行する。ただし第二十三条第一項については平成二十三年度より実施する。

以上

本郷高校2023年度大学入学試験合格結果

大学名	計	現役
国公立大学・大学校		
東京	14	11
京都	6	6
一橋	3	2
東京工業	5	3
北海道	5	3
東北	9	4
大阪	1	1
九州	1	1
弘前	1	1
秋田	2	
茨城	1	1
筑波	9	8
群馬	2	2
千葉	5	4
電気通信	5	3
東京医科歯科	1	1
東京外国語	4	4
東京学芸	3	2
東京農工	3	2
横浜国立	7	6
金沢	1	1
徳島	1	
香川	1	1
高知	1	1
釧路公立	1	1
東京都立	4	4
横浜市立	1	1
名古屋市立	1	
防衛大学校	3	3

大学名	計	現役
私立大学		
早稲田	128	113
慶応義塾	89	73
上智	57	52
東京理科	132	103
明治	139	115
青山学院	24	21
立教	42	35
中央	72	58
法政	67	47
学習院	10	7
北海道医療	1	1
東北医科薬科	1	
獨協医科	2	
国際医療福祉	4	2
埼玉医科	2	
明海	2	1
獨協	8	4
文教	2	1
淑徳	1	
千葉工業	18	11
東洋学園	1	1
亜細亜	4	3
北里	6	5
杏林	1	1
工学院	12	8
國學院	4	4
国土館	2	1
駒澤	17	11
芝浦工業	69	52
順天堂	1	1
昭和	4	3
成蹊	7	2
成城	7	5
専修	13	11
大東文化	3	3
帝京	7	6

大学名	計	現役
私立大学		
東海	4	4
東京医科	3	2
東京経済	1	1
東京工科	1	1
東京歯科	2	2
東京慈恵会医科	2	2
東京電機	15	14
東京農業	5	4
東邦	5	3
東洋	23	18
日本	81	63
日本医科	2	1
星薬科	1	1
武蔵	7	6
東京都市	13	12
武蔵野美術	1	
武蔵野	2	2
明治学院	4	3
明治薬科	1	1
立正	1	1
神奈川工科	1	1
神奈川	4	4
聖マリアンナ医科	1	1
帝京科学	1	1
中京	2	2
中部	1	
名城	1	
京都産業	2	2
同志社	8	7
立命館	17	12
龍谷	1	1
関西	2	
関西医科	1	
近畿	5	3
関西学院	4	1
立命館アジア太平洋	2	

＝ 退 職 ＝

数学科 荒木 信夫 先生
司書教諭 上村 謙 先生

(2023年4月5日現在)

高 60 川合 啓介
高 59 小泉 隼人
高 58 池田 一樹
高 57 西村 利来
高 56 菅原 一輝
高 55 新井 佳央

大野 啓太郎
林 輪太郎
廣瀬 貴充
木下 和俊
相原 匡紀
米山 俊輔
秋本 悠樹
宮川 元
宮本 英明
石村 賢
池田 貴生
山本 崇史
後藤 隆徳
卯坂 潤一郎
菅原 一輝
船渡川 哲
高井 俊宏
大塚 真弘
志村 希
塚田 匡
佐藤 裕明
大河内 伸剛
小泉 信吾
堀越 周
中村 健一
高橋 祐磨
戸澤 信太郎
土橋 篤仁
小泉 孝人

高 65 井上 智皓
高 64 西山 朔
高 63 木村 康彬
高 62 伊藤 健太
高 61 町田 修

井上 智皓
櫻井 幹生
松本 一起
横瀬 智大
河野 遼
矢吹 崇明
辺見 幸大
苦苣 治彦
内藤 亮
石橋 拓也
西山 朔
三好 亮麻
田中 康彬
青木 康太
山田 昂志良
山頭 凌輔
平田 雅俊
福嶋 大樹
金 晟徹
伊藤 健太
大竹 正紘
渡邊 貴之
津邊 暢紀
藤岡 遼
杉浦 貴則
川野 雄平
小穴 泰裕
西田 直紀
田中 慎也
森下 弘基
安本 昌史
福田 直哉
山本 修也
藤井 翔太郎

高 70 井上 寛文
高 69 飯谷 武弘
高 68 菅谷 昌久
高 67 藤田 大輝
高 66 古谷 龍一

本間 理起
青柳 慶人
脇本 智郎
宮本 英俊
井上 寛文
北川 裕貴
島中 晃平
間嶋 諒太郎
落合 勇太
保島 紀信
鎌谷 武弘
蜂谷 翔悟
木村 洋一
桂 彰寿
丸山 雅貴
山浦 悠一郎
光井 直哉
植松 洋樹
鈴木 貴裕
佐々木 魁
萩原 和貴
緑川 響介
加藤 隼人
山岸 清剛
山嶋 達也
青木 瑞樹
山嶋 文也
遠藤 雅之
渡邊 健太郎
藤田 大輝
ドル 有介
平井 大介
古谷 龍一
小林 弘樹
関本 圭吾

高 73 川瀬 知基
高 72 松谷 佳享
高 71 井田 雄介

村上 英仁
關田 久蔵
佐藤 光瑠
阿部 太一
品川 志
船山 剛亮
工藤 達至
葛西 洋希
金子 尚貴
六郷 雄太
松岡 弘大
家田 智也
古田 裕一
嶋津 瑛人
向野 樹
細谷 源二朗
岡田 慎之助
渡邊 伊織
松谷 佳享
南谷 優太
廣瀬 由明
橋本 千穂
高橋 優輔
緑川 詠介
奈良 禄太郎
田澤 優輝
鷲島 明哲
稗田 雄介
中川 光祝
高田 賢
林 凜太郎
横村 諒祐
藤田 航
高田 光
大津 晴輝
小峰 進雅
鈴木 混平
瀬尾 俊一朗
高木 桜輔
中山 敬太
古谷 優弥

高 74 橋本 凌
白井 響
小田部 海
頼 慧一郎
渡邊 紘介
鮫田 航
安藤 晴輝
大津 晴輝
小峰 進雅
鈴木 混平
瀬尾 俊一朗
高木 桜輔
中山 敬太
古谷 優弥

小林 正朋
ナカムラ コウジ
s 59 ネンソツギヨウ
コバヤシ シンイチロウ
スズキ ヤスヨシ
ハヤシ トシアキ
ノダ マサアキ
アオキ ヒロコ
オカノ ヒロユキ
0650 カネダ ケ
サクライ コウジ 19

※万全を期したつもりですが、万が一、お名前の漏れや誤字、脱字などの間違いがありましたらご容赦ください。FAXでご一報いただければ幸いです。

FAX 03-3391710007

納入者数 651人

吉田 龍佑
桑原 真拓
鈴木 祐規
大三川 英輝
塩田 航
田中 拓偉
鳥居 祐真
中村 賢亮
小倉 裕一郎
小川 大貴
山下 賢悟

訃報

謹んでご冥福をお祈り致します
同窓会にご連絡のあった方を掲載しております

高 48	高 45	高 42	高 20	高 18	高 17	高 15	高 12	高 9	高 8	高 7	高 6	高 4	中 20	中 19	中 18	中 17	中 16	中 15	中 3								
倉本 賢一	小柴 慶輝	田口 亘	吉野 明	弥永 光紀	高沢 正雄	三浦 明	山田 有機	玉田 昌孝	阿久津 二三男	比企 正憲	木村 克治	桜井 晟浩	岩淵 義郎	根本 俊雄	鶴岡 強	増田 速水	高橋 實	森 正徳	志田 邦壽	乙部 芳久	和氣 修	杉山 博	駒宮 一郎	武居 和	高田 好一	坂井 溢郎	泉津井 玄

本郷高校サッカー部OB会

開催日…令和5年1月8日(日)
場所…本郷学園グラウンド

前OB会長の青木さん、現OB会長の風見くんの声かけて3年ぶりのOB戦を行う。その前に今年80歳を迎えられた阿出川先生を中央に記念撮影。50歳以上の方々から現役まで怪我のないように岩野先生のホイッスルで試合が開始されました。

閉会式では、優秀選手に賞品が授与され巢鴨界隈で第2部が再会され阿出川先生を囲んで新旧のOBが楽しんだ。

(報告者…米澤潤)



編集後記

松平頼昌理事長は、次の100年を目指すにあたり「やはり『強健・厳正・勤勉』を拠所にする以外にない」と、強調しています。あの懐かしい本郷の教育目標です。松平頼武名誉(前)理事長の「本郷生はスマートであれ!紳士であれ!」との呼びかけと相まって、誰もがあこがれるような「本郷文化」を創りあげていってください。

本号の表紙を、同窓生のアーチストである村上隆さん制作の銅像「お花ちゃんこんにちわ」で飾り、創立100周年のお祝いに花をそえることができました。また、中頁でも村上さんがデザインしたマグカップを紹介しております。作品の写真掲載をご快諾くださった村上さんに心より御礼申しあげるとともに、今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

「本郷中学校・高等学校・100年(2022年)の今」のなかで先生方を紹介しました。多くの卒業生が、学園生活の思い出として、必ずといってよいほど、恩師との出会いを語ります。多感な思春期の生徒たちの成長に、勉学を超えて大きな影響力をもつ先生方の、その名を学園創立100周年の記念として残しておきたかったからです。

(Y)

Allegretto marciale

本郷学園校歌

本郷学園校歌
 わかしは植樹の名どころ染井
 とりわけ紅葉の錦に知らる
 今は学園ここに開けて
 国の柱の苗木を育つ
 ああわれら誇りの本郷学園
 ああ柱苗木の青年われら
 つとめば未来に何えせざらむ
 さらば固めよ処世のもととい
 こころは剛毅に身は強健に
 ああわれら誇りの本郷学園
 作詩 坪内逍遙
 作曲 信時潔

南



表紙写真：

本郷学園創立100周年を記念して同窓生のアーティスト・村上隆さん（1980年卒業＝高校32回生）から銅像「お花ちゃんこんにちわ」が贈られ、2号館1階エントラスに設置されている